

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 8 月 28 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103650		
法人名	社会福祉法人 広島常光福祉会		
事業所名	グループホームげんき馬木		
所在地	広島市東区馬木4丁目2122-1 (電話) 082-883-0238		
自己評価作成日	令和5年7月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103650-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年8月21日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

同敷地内に小規模多機能型居宅介護事業所とげんき保育園が隣接、日常生活や行事等、幅広く世代間交流を実施。また、広い庭を活用し、散歩や花の水やり、野菜の収穫など屋外での活動も充実。おやつは手作りの物を提供、畑で採れた野菜も献立に取り入れている。毎月、利用者、家族、地域住民、地域包括支援センター職員、民生委員等を招いて運営推進会議（奇数月）・介護者教室（偶数月）を開催していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見合わせている。町内会長より「まだ町内会を再開しておらず大人数が集まるには不安が残る」との助言から、現在は中止しているが、連携を密に取りながら再開に向けて動いていく。毎月の事業所内勉強会に加え、職員の要望や管理者推薦にて、各職員が年に1~2回は外部研修に参加。職員の知識及び技術向上により質の高いサービスが提供できるよう努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人内の委員会や研修体制が充実し、ホームが目指すべき理念及び方針を明確化している。家族の協力のもと、お墓参りや短時間の外出など新型コロナウイルス感染症に見合った工夫をしている。同敷地内に小規模多機能型居宅介護事業所と保育園が併設しており、多世代の交流が出来る環境である。利用者個々の役割を増やす目的で、家庭菜園、食事の片付け、洗濯物など利用者と職員が一緒にしている。法人として接遇に力を入れており、今年度の目標『手を止め、姿勢を正し、笑顔で挨拶します』を掲げ、利用者へ寄り添い、心のこもった温かいケアを目指している。楽しみを増やす取り組みとして、散歩や体操に加え、ドライブなど利用者の方に喜んでもらえるように支援している。今後は下半期に向けて運営推進会議の対面再開、利用者のアセスメントを深める目的でICTの活用により、記録の効率化の準備を進めている。

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	・毎日の朝礼で理念の復唱を行うことで職員で共有し、実践に繋げている。・法人や事業所の理念を、玄関やトイレ、寮母室など目の届く場所へ提示している。・個人の一日のケア目標（注意して取り組む事）を発表し実践に繋げている。	朝礼時に唱和をし、ケアを実践する上での立ち返るべき原点としている。日頃のケアの状況を踏まえ、勤務者個々の一日のケア目標、注意喚起を含めた内容を発表し、職員間で共有しながら日々支援に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	・町内会に所属し、役員を行っている。・町内会のイベント（清掃や老年会など）に参加したりしている。・地域の方に事業所でのイベントの案内をして参加したりしてもらっていたが、最近はコロナの影響で出来ていない。	町内会の役員を担い、コロナ禍前の町内会の集まりは併設の小規模多機能型居宅介護事業所を開放し会議を行っていた。職員が年1回の地域清掃への参加、地域行事の老年会などに参加している。コロナ禍前は、事業所の祭り『きてみん祭』の案内をして、地域の方が沢山訪れていた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	・運営推進会議に地域の方にも参加してもらい、認知症についての勉強会や意見交換を行っていたが、コロナの影響で実施出来ていない。・認知症サポーターの講師として活動している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	・行事内容や利用状況の報告を行い情報や意見を交換し、その時に得た事をその後のサービス改善に活かしていたが、最近ではコロナの影響で集まる事が出来ない為、意見照会を行っている。会議での話し合いから発展し町内会（2地区）と防災協定を結んでいる。	コロナ禍の状況を踏まえ書面で継続している。利用状況、交流・行事等、苦情・事故など報告している。会議の名前を『寺小屋げんき』とし工夫をしている。災害での話し合いから、近隣町内会の2地区と防災協定を締結している。下半期から対面会議の準備を進めている。	現在は議事録が公表されておらず、家族への情報が共有されていない。今後は議事録を送付する案等、会議録公表に取り組み、家族の意見が運営に一定反映されるようにフィードバック出来る体制づくりを期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	・運営推進会議への参加を毎回呼びかけたり、市政出前講座を活用し講師を招き講習会を行うなどしていたが、最近ではコロナの影響で中止している。・運営で不明な点や必要な内容があれば市の指導係と連携を取り対応している。	市との連携は、運営推進会議の担当者が担っている。申請関係、認定調査を含め、相談や質問がある時は、電話やファックスで情報共有を行っている。地域包括支援センターからの依頼で、認知症サポーター養成講座の講師として活動している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関はボタン式スイッチで開くようになっており操作方法が理解できる人は自由に外へは出ることが可能である。 ・門扉は日中は開放している。 ・勉強会、外部研修等で正しい情報の共有を行っている。 	年1回研修を実施し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。『虐待・身体拘束防止委員会』として年4回会議を実施している。年1回職員アンケートを実施し、集約する中で言葉の拘束、不適切なケアにならないように注意喚起をしている。上記について、運営推進会議で報告している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待、拘束防止委員会を3ヶ月に1回実施、その他、勉強会を実施し職員間で情報を共有する事で防止に努めている。 ・外部研修に参加している。 ・利用者への声かけや対応等が適切ではない場合には虐待になる可能性がないか話し合い、対応の改善を促している。 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会、申し送り等で情報の共有をしている。 ・成年後見制度を利用している方もいる。それに関わる担当者との連絡調整を行っている。 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・契約書を基に丁寧に説明を行い、項目毎に質問や疑問点が無いか尋ね、理解して頂いているか確認している。 ・改定時は案内を出し、不明点は問い合わせをしていただけるよう配慮している。 		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回の運営推進会議を行った ・年1回の家族会総会でのアンケートや意見交換の場を設け、面会時や4ヶ月毎のカンファレンス等や意見があれば会議等で話し合いの場を設けていたが、最近ではコロナの影響で控えており、電話連絡等で対応している。 	感染状況を踏まえ、短時間面会、電話の取り次ぎなど柔軟に対応をしている。コロナ禍で面会が難しい状況から、毎月、本人の写真とホームでの生活状況のコメントを添え家族へ送付している。年1回家族アンケートを実施し、出来る限りの要望を対応している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に提案、議題があれば月1回の職員会議で議題にして話し合っ運営や業務に反映させている。 ・大きな議題提案等については、毎月実施している法人の管理者会議の中で管理者が情報を発信している。 	<p>魅力ある職場づくりの方針から法人として、介護部会サービスを立ち上げ、職員の待遇の改善を図っている。年2回の個別面談、業務内で職員とのコミュニケーションを図ることで、意見や提案が出やすいよう配慮している。今年度はリフレッシュ休暇を取り入れている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の目で見ただけでなく管理者や現場リーダーからも情報を得て職場環境の向上を目指している。 ・年2回の人事考課（職員面談）を行っている。 		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の勉強会や外部の研修への参加、資格取得に向けての支援を行っている。 		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修や外部勉強会、交流会などで情報交換している。 		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前の面接時には可能な限り直接、本人からも情報収集すると共に、病院や居宅と連携を取り、サマリーからも情報収集している。 		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の施設見学や面接時に家族や保佐人から聴き取りを行いながら、それらに対する説明を行っている。 ・収集した情報を職員に伝達、共有し家族との信頼関係作りに努めている。 ・入居後も家族に様子を報告し、本人や家族の意向を尊重しケアに反映させている。 		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅や他事業所、病院とも連携し、本人や家族と共にサービスの検討を行っている。 		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と利用者で食事、洗濯、掃除など日常生活の一部を共有している。 ・利用者の昔ながらの調理方法や野菜作りなどを教わったり、一緒に作ったりする機会を提供している。 		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活上の相談やカンファレンス、家族会、行事などに参加を促している。また、何かあれば協力をお願いしている。 ・面会時には本人の生活状況を伝えている。 		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・面会時には本人との関係性をお尋ねし、友人や近所の方に気軽に来園が行えるよう声掛けしている。・ドライブや、家族の協力にて自宅へ帰ったり、外出出来るよう支援している。・コロナの影響で外泊は控えていたが、今後は実施も視野に入れて検討する。 	<p>家族からの情報、生活歴などから把握するように努めている。近隣の方が比較的多く、友人や近所の方の訪問がある。コロナ禍において、家族の協力のもと、感染対策をしながら外食、お墓参りなど外出している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が興味を持てる昔ながらの物をレクリエーションで利用し、全員が参加できるよう工夫している。 ・施設行事の参加、レクリエーション等での交流を持っている。 ・職員が利用者の中に入り、共通の話題や活動を提供し孤独を防いでいる。 		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後も病院や施設などに行ったり、自由に来園して頂けるように環境を作っている。 ・電話での相談や情報提供を受け付けている。 		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意向は伝達ノートや会議、勉強会などで情報共有し、意識の統一を図っている。 ・コミュニケーションを図りながら個々の好みや癖を掴み、表情を見るなどし、個々の意向の把握に努めている。 	利用者の普段の様子、会話で得た情報、利用者の意向は伝達ノートや会議などで職員間で共有している。利用者の状況から毎月の会議で、入浴時の同性介護を徹底した経緯がある。利用者の状況や意向については、各ユニットリーダーから家族へ連絡し、やり取りをしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅、病院、他事業所、新しい情報などは伝達ノートや申し送り、会議などで共有している。 ・食事や生活習慣の嗜好チェックを行い、情報を把握している。 ・面会時に家族や親戚、知人から情報を収集している。 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りにて個々の状態把握を行っている。 ・毎日のバイタル測定、排泄、入浴の有無、食事量、1日の個々の様子や普段と変わった事はないかなど、ケース記録に残し、情報を把握、共有している。 		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4ヶ月に1回の定期見直しと、状態変化があれば随時見直し実施している。また8ヶ月に1回介護計画の全体見直しや、退院後には状態に合わせたプランの作成を行い様子をみている。 ・ケース担当が状態変化や今後の見通しを踏まえてモニタリングを行い、担当職員を中心に計画の原案を作成している。 	<p>担当職員がアセスメントを実施し、計画作成者と担当職員が中心となり利用者・家族の意向を踏まえた計画を作成している。毎日の実施チェック表、法人独自の『ケアプラン気付きシート』を活用し、アイデアを出し合い、毎月評価をしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランの実施チェック表を作成し、毎日実施チェックを行うと共に、ケース記録へ詳細を記録している。また、月末に評価を行っている。それらの記録を介護計画の見直しに活かしている。 		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同敷地内の事業所に自由に行き来し、利用者同士の交流が図れるようにしたり、同敷地内の設備は共有したりしていたが、最近ではコロナの影響で出来ていない。 ・利用者からの要望は可能な限り施設、職員、家族の力を借りて支援している。 		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会行事への参加や地域からのボランティアによる慰問を受けていたが、最近ではコロナの影響で控えている。 		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時に本人、家族よりかかりつけ医の希望を聞いている。 ・体調不良時には主治医に相談し受診をしている。 ・週に2回かかりつけ医の往診がある。 ・他の病院に受診する際には、かかりつけ医からの紹介状により適切に行えるように支援している。 	<p>契約時に希望を聴いているが、週2回の訪問診療や連絡体制が整っていることもあり、利用者全員の主治医が事業所の協力医である。他の専門医の受診などは家族の協力のもと支援を行っている。必要に応じて薬剤師との相談体制、歯科の訪問診療を受ける事が出来る。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問前には、問診票に当日のバイタル測定を記入し、気になることや必要な外用薬を記入している。また、かかりつけ医からもCT検査や採血などの指示がある。 ・何か異常があれば看護師に相談や指示を仰いでいる。 		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時にはサマリーFAXなど、利用者の状態を伝えている。また、入院中も病院関係者と連携を図り、入院時の利用者の状態把握に努め、退院後にスムーズに生活が送れるよう努めている。 ・退院期間の相談や調整などの連携を図って、本人や家族の意向に沿えるよう努めている。 		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時やカンファレンス時に重度化し終末期を迎えた時の方向性について、家族に説明している。また、重度化や終末期の時には改めて、本人希望を踏まえたうえで事業所で対応出来ない事もある事を伝え、他施設等に紹介を行っている。 	利用開始時に家族への説明を行っている。ホームの住環境、浴室などを踏まえ、重度化した場合、その都度家族や医療関係者と方向性をよく話し合い、看取りの時期になれば法人内の特別養護老人ホームや老人保健施設、他法人の療養病棟がある病院での対応としている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・急変や事故発生時のマニュアルを設置し、施設全体で連携を図りながら実践している。 ・勉強会で年に数回、急変や事故時の訓練を実施している。 		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・日中、夜間を想定した避難訓練を年に2回、内1回は消防署員来園の上、実施。以前は地域の方々にもご参加頂いていたが、感染症対策にて現在は職員と利用者のみで実施。 ・近隣、町内会と防災協定を締結。 ・災害をテーマに年に数回、勉強会を行っている。 	法人での応援体制やBCP（事業継続計画）を作成している。近隣町内会の2地区と防災協定を締結している。年2回の訓練で1階から2階へと垂直避難の訓練をしている。水、食料など備蓄に関しては、2階に3日分準備している。コロナ禍前は運営推進会議メンバーと一緒に訓練を実施している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	<ul style="list-style-type: none"> 本人のペース、性格等に配慮しながら声掛けや対応に努めている。 外部研修への参加や勉強会を実施し、プライバシー保護について学ぶ機会を設けている。 	年1回の研修と毎年度接遇目標を掲げ取り組んでいる。法人として外部講師を依頼し、年1回の事業所の実施状況を確認し、アドバイスを受ける体制が整っている。年2回の接遇向上委員会の中で職員アンケートを実施し、成功例など全体で共有して日々の実践に活かしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で、何を求めているのか把握し、希望や意向を優先的に汲み取り、自己決定が行えるように努めている。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	<ul style="list-style-type: none"> 本人のペースに配慮し、家事や食事、入浴など、基本的な日課を提供し、その人に何が重要なのかを把握し支援している。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝、身だしなみの声掛けや介助を行い、外出の際には本人の好きな洋服や季節に合った洋服選びを行っている。また、入浴等で着替える際は、本人に洋服を選んで貰える様に支援している。 美容室に行けない方に訪問理美容を事業所で受けられるようにしている。 		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	<ul style="list-style-type: none"> 裏庭で野菜作りや収穫を行ったり、食事前の準備(テーブル拭き)や片付け(食器洗いやトレー拭き)を職員と一緒にやっている。 献立に合わせた食器の選択、盛り付けや彩り等、食事を楽しんで頂けるよう配慮している。 	おかずは真空パックを利用している。毎日の手作りおやつ、誕生日会には手作りケーキでお祝いしている。裏庭にある畑で季節の野菜を育て、収穫時には料理として提供している。献立に合わせた食器類を選定し、食事を楽しめるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事は本人の意向を汲み取るように努め、食品納入業者の管理栄養士により、バランスのとれた献立を提供。又、栄養の摂取が困難な場合は高カロリー食品等を提供し、水分摂取が困難な場合はゼリーやジュース、汁物等で補充。 ・必要な利用者には水分摂取表を用意し、1日1500ccを目標に水分補給。 		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアは毎食後必ず行い、介助が必要な利用者は職員が介助を行い、必要に応じ家族や訪問歯科に相談している。 ・義歯は毎食後洗浄し、週2回薬剤洗浄。本人の歯ブラシやコップは毎食後に消毒洗浄している。 ・希望者には、訪問歯科を事業所で受けられるように手配している。 		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個々の行動や表情を把握し、排泄の声掛けやトイレ誘導を行っている。 ・状態の変化があれば、その都度パット類やトイレ誘導の見直しを行っている。 ・必要な方には個人の排泄表を作成し、漏れや失敗が少なくなるように支援している。 	<p>車いすスペースを確保したトイレが3カ所あり、その内1カ所は男性用のトイレを設置している。紙おむつ類の見直しをその都度行っている。利用者個々の行動パターンを把握しながら定期的な声掛け、トイレ誘導を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夕食時に手作りヨーグルトを提供。 ・散歩や体操、身体を使ったレクリエーションを行い細目に水分を提供している。 ・排便確認を行い、記録管理する事で、排便の有無を把握。 ・入浴時の腹部マッサージの声掛け、排便困難時は医師に相談。 		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた時間帯の中ではあるが、利用者個々のタイミング、希望や意向を汲み取り、気持ちよく入浴して頂けるよう支援している。 	<p>週2回の入浴をし、入浴時には皮膚トラブルが無いか確認している。本人が好む、シャンプー、トリートメント、洗顔など自由に持ち込みができる。ヒートショック予防で脱衣場にエアコンを設置している。希望があれば入浴の順番の調整を行い、柚子湯など季節湯の支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・日中はしっかりと身体を動かし、体調に合わせて昼寝(30分～1時間程度)を勧めている。 ・入浴等で安眠を促している。 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の薬について、職員間で情報を共有し、新しく処方された薬や変更については伝達ノートに記録して申し送りを行い、服薬後の状態確認を行っている。異常があれば医師や薬剤師に相談している。 ・薬の準備やチェックを複数の職員で行い、確実に服薬が実施できるようにしている。 ・週1回、薬剤師による居宅療養管理指導を受けている。 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、体操やレクリエーションを行っている。 ・利用者個々に趣味(編み物・花の水やり・折紙等)や掃除(床拭き等)を行うなど役割を持てるよう支援している。 ・毎月、季節の行事を実施している。 ・食器洗いやテーブル、トレー拭きを利用者の能力に合わせて提供している。 		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の良い日は、職員と一緒に外に出て散歩をしたり、ドライブ等の外出行事を行っている。 ・家族と日帰り旅行を行うなど外出支援に努めていたが、最近ではコロナの影響で控えている。 ・家族に協力を頂き、外出や帰省、墓参り等の対応をしてもらっている。 	気候が良ければ、コロナ禍でも敷地内の散歩をしている。本人や家族の外出希望も個々に対応し、令和5年5月以降は感染対策を取って家族対応での外出、外食、お墓参りなどしている。季節毎の外出日を年3回設け、『ドライブ、お花見、紅葉狩り』などに出掛けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の安心感のために少額を自己管理してもらうことはある。 ・欲しい物を聞き、家族の対応が難しい場合などには職員が代わりに購入し、本人の希望に沿うようにしている。 		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や大切な人と継続して交流が出来るよう、電話（携帯電話、公衆電話）をかける支援や介助を行っている。 ・ハガキや切手を準備している。手紙を出す時の郵送の介助を行っている。 	/	
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・共有の空間の掃除、必要物品の補充、環境整備を行い過ごしやすい空間を提供。又、空調も季節ごとに調整。 ・季節ごとに、利用者へ季節感のある作品を作成してもらい、壁面へ飾っている。 ・玄関へ写真の展示をしたり、季節の花や鉢植えを置いている。 	<p>利用者と職員が共同作成した季節の飾りつけをしている。明るい雰囲気コンセプトとし、1階玄関は吹き抜けで、リビングの窓も大きく、会話が弾むように椅子やソファを設置している。利用者の状況により、テーブルの使い勝手が悪い場合は昇降タイプのテーブルを準備している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リビングにはソファを配置し、独りになれたり、食事テーブルでは他者と談笑出来たり、活動をしたりとそれぞれが自由に過ごせるよう工夫している。 	/	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・居室には自宅での使い慣れた家具や思い出の品などを持ち入り、本人が居心地よく快適に暮らせる環境を作れるよう心掛けている。 	<p>利用の準備にあたって、利用開始前に必ず見学をして頂いている。自宅で使い慣れた物、仏壇や鏡台など大切にしている物、写真など思い思いの物品を自由に持ち込んでいる。本人の身体状況、生活スタイルに応じてベッドの位置などを設置している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの残存機能を活かす為に、職員間でコミュニケーションを取り、利用者個人個人のレベルに合わせ、出来ることを提供し、難しいようであれば職員と一緒に行動等、工夫している。 	/	

V アウトカム項目(1階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝礼で理念の復唱を行うことで職員で共有し、実践に繋げている。 ・法人や事業所の理念を、玄関やトイレ、寮母室など目の届く場所へ提示している。 ・個人の一日のケア目標（注意して取り組む事）を発表し実践に繋げている。 		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会に所属し、役員を行っている。 ・町内会のイベント（清掃や老年会など）に参加したりしている。 ・地域の方に事業所でのイベントの案内をして参加したりしてもらっていたが、最近ではコロナの影響で出来ていない。 		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に地域の方にも参加してもらい、認知症についての勉強会や意見交換を行っていたが、コロナの影響で実施出来ていない。 ・認知症サポーターの講師として活動している。 		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・行事内容や利用状況の報告を行い情報や意見を交換し、その時に得た事をその後のサービス改善に活かしていたが、最近ではコロナの影響で集まることが出来ていない為、意見照会を行っている。会議での話し合いから発展し町内会（2地区）と防災協定を結んでいる。 		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議への参加を毎回呼びかけたり、市政出前講座を活用し講師を招き講習会を行うなどしていたが、最近ではコロナの影響で中止している。 ・運営で不明な点や必要な内容があれば市の指導係と連携を取り対応している。 		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関はボタン式スイッチで開くようになっており操作方法が理解できる人は自由に外へは出ることが可能である。 ・門扉は日中は開放している。 ・勉強会、外部研修等で正しい情報の共有を行っている。 		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待、拘束防止委員会を3ヶ月に1回実施、その他、勉強会を実施し職員間で情報を共有する事で防止に努めている。 ・外部研修に参加している。 ・利用者への声かけや対応等が適切ではない場合には虐待になる可能性がないか話し合い、対応の改善を促している。 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会、申し送り等で情報の共有をしている。 ・成年後見制度を利用している方もいる。それに関わる担当者との連絡調整を行っている。 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・契約書を基に丁寧に説明を行い、項目毎に質問や疑問点が無いか尋ね、理解して頂いているか確認している。 ・改定時は案内を出し、不明点は問い合わせをしていただけるよう配慮している。 		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回の運営推進会議を行った。年1回の家族会総会でのアンケートや意見交換の場を設け、面会時や4ヶ月毎のカンファレンス等や意見があれば会議等で話し合いの場を設けていたが、最近ではコロナの影響で控えており、電話連絡等で対応している。 		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に提案、議題があれば月1回の職員会議で議題にして話し合って運営や業務に反映させている。 ・大きな議題提案等については、毎月実施している法人の管理者会議の中で管理者が情報を発信している。 		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の目で見ただけでなく管理者や現場リーダーからも情報を得て職場環境の向上を目指している。 ・年2回の人事考課（職員面談）を行っている。 		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の勉強会や外部の研修への参加、資格取得に向けての支援を行っている。 		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修や外部勉強会、交流会などで情報交換している。 		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前の面接時には可能な限り直接、本人からも情報収集すると共に、病院や居宅と連携を取り、サマリーからも情報収集している。 		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の施設見学や面接時に家族や保佐人から聴き取りを行いながら、それらに対する説明を行っている。 ・収集した情報を職員に伝達、共有し家族との信頼関係作りに努めている。 ・入居後も家族に様子を報告し、本人や家族の意向を尊重しケアに反映させている。 		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅や他事業所、病院とも連携し、本人や家族と共にサービスの検討を行っている。 		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と利用者で食事、洗濯、掃除など日常生活の一部を共有している。 ・利用者の昔ながらの調理方法や野菜作りなどを教わったり、一緒に作ったりする機会を提供している。 		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活上の相談やカンファレンス、家族会、行事などに参加を促している。また、何かあれば協力をお願いしている。 ・面会時には本人の生活状況を伝えている。 		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・面会時には本人との関係性をお尋ねし、友人や近所の方に気軽に来園が行えるよう声掛けしている。 ・ドライブや、家族の協力にて自宅へ帰ったり、外出出来るよう支援している。 ・コロナの影響で外泊は控えていたが、今後は実施も視野に入れて検討する。 		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が興味を持てる昔ながらの物をレクリエーションで利用し、全員が参加できるよう工夫している。 ・施設行事の参加、レクリエーション等での交流を持っている。 ・職員が利用者の中に入り、共通の話題や活動を提供し孤独を防いでいる。 		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後も病院や施設などに行ったり、自由に来園して頂けるように環境を作っている。 ・電話での相談や情報提供を受け付けている。 		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意向は伝達ノートや会議、勉強会などで情報共有し、意識の統一を図っている。 ・コミュニケーションを図りながら個々の好みや癖を掴み、表情を見るなどし、個々の意向の把握に努めている。 		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅、病院、他事業所、新しい情報などは伝達ノートや申し送り、会議などで共有している。 ・食事や生活習慣の嗜好チェックを行い、情報を把握している。 ・面会時に家族や親戚、知人から情報を収集している。 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りにて個々の状態把握を行っている。 ・毎日のバイタル測定、排泄、入浴の有無、食事量、1日の個々の様子や普段と変わった事はないかなど、ケース記録に残し、情報を把握、共有している。 		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	・4ヶ月に1回の定期見直しと、状態変化があれば随時見直し実施している。また8ヶ月に1回介護計画の全体見直しや、退院後には状態に合わせたプランの作成を行い様子をみている。・ケース担当が状態変化や今後の見通しを踏まえてモニタリングを行い、担当職員を中心に計画の原案を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	・ケアプランの実施チェック表を作成し、毎日実施チェックを行うと共に、ケース記録へ詳細を記録している。また、月末に評価を行っている。それらの記録を介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ変わるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	・同敷地内の事業所に自由に行き来し、利用者同士の交流が図れるようにしたり、同敷地内の設備は共有したりしていたが、最近ではコロナの影響で出来ていない。 ・利用者からの要望は可能な限り施設、職員、家族の力を借りて支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	・町内会行事への参加や地域からのボランティアによる慰問を受けていたが、最近ではコロナの影響で控えている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	・入居時に本人、家族よりかかりつけ医の希望を聞いている。・体調不良時には主治医に相談し受診をしている。・週に2回かかりつけ医の往診がある。・他の病院に受診する際には、かかりつけ医からの紹介状により適切に行えるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問前には、問診票に当日のバイタル測定を記入し、気になることや必要な外用薬を記入している。また、かかりつけ医からもCT検査や採血などの指示がある。 ・何か異常があれば看護師に相談や指示を仰いでいる。 		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時にはサマリーFAXなど、利用者の状態を伝えている。また、入院中も病院関係者と連携を図り、入院時の利用者の状態把握に努め、退院後にスムーズに生活が送れるよう努めている。 ・退院期間の相談や調整などの連携を図って、本人や家族の意向に沿えるよう努めている。 		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時やカンファレンス時に重度化し終末期を迎えた時の方向性について、家族に説明している。また、重度化や終末期の時には改めて、本人希望を踏まえたうえで事業所で対応出来ない事もある事を伝え、他施設等に紹介を行っている。 		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・急変や事故発生時のマニュアルを設置し、施設全体で連携を図りながら実践している。 ・勉強会で年に数回、急変や事故時の訓練を実施している。 		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・日中、夜間を想定した避難訓練を年に2回、内1回は消防署員来園の上、実施。以前は地域の方々にもご参加頂いていたが、感染症対策にて現在は職員と利用者のみで実施。 ・近隣、町内会と防災協定を締結。 ・災害をテーマに年に数回、勉強会を行っている。 		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人のペース、性格等に配慮しながら声掛けや対応に努めている。 ・外部研修への参加や勉強会を実施し、プライバシー保護について学ぶ機会を設けている。 		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、何を求めているのか把握し、希望や意向を優先的に汲み取り、自己決定が行えるように努めている。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人のペースに配慮し、家事や食事、入浴など、基本的な日課を提供し、その人に何が重要なのかを把握し支援している。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、身だしなみの声掛けや介助を行い、外出の際には本人の好きな洋服や季節に合った洋服選びを行っている。また、入浴等で着替える際は、本人に洋服を選んで貰える様に支援している。 ・美容室に行けない方に訪問理美容を事業所で受けられるようにしている。 		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・裏庭で野菜作りや収穫を行ったり、食事の準備（テーブル拭き）や片付け（食器洗いやトレイ拭き）を職員と一緒にやっている。 ・献立に合わせた食器の選択、盛り付けや彩り等、食事を楽しんで頂けるよう配慮している。 		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事は本人の意向を汲み取るように努め、食品納入業者の管理栄養士により、バランスのとれた献立を提供。又、栄養の摂取が困難な場合は高カロリー食品等を提供し、水分摂取が困難な場合はゼリーやジュース、汁物等で補充。 ・必要な利用者には水分摂取表を用意し、1日1500ccを目標に水分補給。 		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアは毎食後必ず行い、介助が必要な利用者は職員が介助を行い、必要に応じ家族や訪問歯科に相談している。 ・義歯は毎食後洗浄し、週2回薬剤洗浄。本人の歯ブラシやコップは毎食後に消毒洗浄している。 ・希望者には、訪問歯科を事業所で受けられるように手配している。 		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個々の行動や表情を把握し、排泄の声掛けやトイレ誘導を行っている。 ・状態の変化があれば、その都度パット類やトイレ誘導の見直しを行っている。 ・必要な方には個人の排泄表を作成し、漏れや失敗が少なくなるように支援している。 		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夕食時に手作りヨーグルトを提供。 ・散歩や体操、身体を使ったレクリエーションを行い細目に水分を提供している。 ・排便確認を行い、記録管理する事で、排便の有無を把握。 ・入浴時の腹部マッサージの声掛け、排便困難時は医師に相談。 		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた時間帯の中ではあるが、利用者個々のタイミング、希望や意向を汲み取り、気持ちよく入浴して頂けるよう支援している。 		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	・日中はしっかりと身体を動かし、体調に合わせて昼寝(30分～1時間程度)を勧めている。 ・入浴等で安眠を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	・利用者の薬について、職員間で情報を共有し、新しく処方された薬や変更については伝達ノートに記録して申し送りを行い、服薬後の状態確認を行っている。異常があれば医師や薬剤師に相談している。 ・薬の準備やチェックを複数の職員で行い、確実に服薬が実施できるようにしている。 ・週1回、薬剤師による居宅療養管理指導を受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	・毎日、体操やレクリエーションを行っている。 ・利用者個々に趣味(編み物・花の水やり・折紙等)や掃除(床拭き等)を行うなど役割を持てるよう支援している。 ・毎月、季節の行事を実施している。 ・食器洗いやテーブル、トレー拭きを利用者の能力に合わせて提供している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	・天気の良い日は、職員と一緒に外に出て散歩をしたり、ドライブ等の外出行事を行っている。 ・家族と日帰り旅行を行うなど外出支援に努めていたが、最近ではコロナの影響で控えている。 ・家族に協力を頂き、外出や帰省、墓参り等の対応をしてもらっている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	・本人の安心感のために少額を自己管理してもらうことはある。 ・欲しい物を聞き、家族の対応が難しい場合などには職員が代わりに購入し、本人の希望に沿うようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	・家族や大切な人と継続して交流が出来るよう、電話（携帯電話、公衆電話）をかける支援や介助を行っている。 ・ハガキや切手を準備している。手紙を出す時の郵送の介助を行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・共有の空間の掃除、必要物品の補充、環境整備を行い過ごしやすい空間を提供。又、空調も季節ごとに調整。 ・季節ごとに、利用者へ季節感のある作品を作成してもらい、壁面へ飾っている。 ・玄関へ写真の展示をしたり、季節の花や鉢植えを置いている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	・リビングにはソファを配置し、独りになれたり、食事テーブルでは他者と談笑出来たり、活動をしたりとそれぞれが自由に過ごせるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・居室には自宅での使い慣れた家具や思い出の品などを持ち入り、本人が居心地よく快適に暮らせる環境を作るよう心掛けている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	・一人ひとりの残存機能を活かす為に、職員間でコミュニケーションを取り、利用者個人個人のレベルに合わせ、出来ることを提供し、難しいようであれば職員と一緒に行動等、工夫している。		

V アウトカム項目(2階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームげんき馬木

作成日 令和5年9月22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	現在は書面のみでの報告で議事録が公表されておらず、家族への情報共有がされていない。	運営推進会議の議事録を家族へ送付し、家族の意見が運営に反映される体制作りを整備する。	11月より運営推進会議再開し家族参加を求めると共に、議事録を家族へ送付し意見を求め運営に反映させる。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。